

事務事業名		シカ防護網普及事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業			
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目			
	施策名	0 2 地域特性を活かした農林業の振興		区分		会計	款 項 目 事業		
	基本事業名	0 1 魅力ある農業の推進		単年度繰返		01	06 01 08 0200		
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入					
所属	部課名	農林水産部農林課		【開始年度】		事務事業区分			
	課長名	大和田 達也		平成16 年度～		E 一般			
	係名	林業係	電話	0192-27-3111					
	担当者	志田 朋史	内線	338					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
<p>集落周辺に棲みつくニホンジカが増加しており、農作物被害が後を立たない状況である。市では、シカの農作物被害の軽減を図るため、市内の耕作地において農作物被害を受けている者に対し、シカ等防護網を有償で配布している。</p> <p>配布希望者は、事業費の1/3以内の額を負担し、2/3を市で負担している。配布された防護網は、購入者において、被害農地等へ個別に設置している。</p> <p>主な業務内容</p> <p>①委託業者との契約、②広報紙による周知、③募集の受付、④購入者へ通知と納付書の配布、⑤配布状況の確認、⑥支払事業費は、委託料として支出される。</p>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
財源内訳	都道府県支出金								
地方債									
その他									
一般財源									
事業費計(A)	0								
人件費	正規職員従事人数								
延べ業務時間									
人件費計(B)	0								
トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
・シカ等防護網を184反配布した。(1反:50m×2m)		ア	配布反数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	防護網設置距離
・シカ等防護網を配布する。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	
・シカ被害を受けている農家等でシカ防護網を必要とする人		カ	防護網希望者数
		キ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
・農作物被害を減少させる。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	市内のシカによる農作物等被害額 (防護網受給者の被害額は把握していない)
安定して農業を営む。		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
				2023	2024	2025	2026	2027	2028	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	700	736	840	800	800	800	
		一般財源	千円	1,623	1,735	2,108	2,700	2,700	2,700	
	事業費計(A)		千円	2,323	2,471	2,948	3,500	3,500	3,500	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40	40	
		人件費計(B)	千円	160	160	160	160	160	160	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	2,483	2,631	3,108	3,660	3,660	3,660
⑤活動指標		ア	反	200	184	210	220	220	220	
		イ	m	10,000	9,200	10,500	11,000	11,000	11,000	
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	128	184	128	220	220	220	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	千円	5,168	3,429	3,191	3,429	3,429	3,429	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0542	事務事業名	シカ防護網普及事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	<p>・平成15年度までは、「シカ防護網貸与事業」として、市が無償で市内農業者名簿登載者に防護網を配布する事業を行っていたが、シカによる農林作物への被害が後をたたく、被害が拡大していること、里シカ化が進み、被害が広範囲に及んでいることから、広く一般住民を対象とし、平成16年度から開始した。</p>
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<p>・シカからの農林作物被害軽減を図るため、さまざまなシカ被害防止事業を展開しているが、依然として被害が後を絶たず、市内全域において防護網の需要が高い状況である。</p>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>・特定地区の農地に限らず、市内全域に被害が及んでおり、多くの住民より防護網にかかる事業の充実が求められている。</p>

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？	・シカによる農作物被害が減れば、農林業家の安定した農林作物の生産及び供給につながり、経営の安定化に結びつく。その結果、農林業の振興が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	・シカ被害を防止する適切な措置を講じなければ、農林業収入の減少及び農林業家の生産意欲の低下につながるため、市において積極的に関わっていかなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	・対象であるシカ被害を受けている農林業家等で防護網を必要とする人に対し、防護網を配布して被害の軽減を図る事業であり、対象、意図とも妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	・事業の継続により、シカによる農林作物被害を受けている市民の被害軽減を図ることができることから、引き続き事業を実施していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	・防護網の設置など、適切な防除措置を講じなければ、シカ被害の拡大を招き、農林業収入の減少及び農林業家の生産意欲の低下につながり、農林業振興の妨げとなる。よって、廃止・休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	・現時点で事業費を削減することはできないが、事業の継続によって農作物等の被害が大幅に減少すれば、実情に応じて事業費を削減することは可能である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	・配布希望受付、網の購入、配布決定通知、負担金徴収など、業務を委託することによる削減できる。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	・受益者は、事業費の1/3(3反が限度)を負担しており、応分の負担と考えられる。農振を図る上で、シカ被害対策は市の重要課題であり、市が事業費の2/3を負担することは適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持 ※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	現状どおり継続して事業を実施する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	シカ被害の縮小に向け、現状維持で継続する。